

登録医療機関ご紹介

医療法人 士正会 庄内クリニック

内科・外科・形成外科・在宅医療

当院では、地域の皆さまのための内科・外科・形成外科として、複数の医師の知識と経験を活かせるよう日々取り組んでいます。
また、クリニックの技術・経験を活かした美容診療にも力を入れておりますので、以下のようなお悩みをお持ちの方は、是非当院へご相談ください。

- ✓自分の悩みを解消してくれる治療を受けたい
- ✓日帰り、外来通院で済ませたい
- ✓詳しく、わかりやすく説明してほしい



院長 佐野 貴史

佐野 貴史 院長
(内科・形成外科・在宅)
増井 利彦 医師
(内科・外科・在宅)
内田 潔 医師
(内科・在宅)

ホクロ、ケロイドなど、これさえ無ければとお悩みの方に、確かな技術で治療させていただきます。

診療時間	月	火	水	木	金	土
AM9:00-12:00	佐野	増井	佐野	佐野	内田	佐野
PM4:00-7:00	佐野	佐野	-	佐野	内田	-

名古屋市西区笠取町4丁目108 シャトーレ笠取 1F TEL 052-528-5388 / FAX 052-528-5353

※「登録医ご紹介」への掲載希望がございましたら地域医療連携センター小谷（おだに）までご連絡ください。



名古屋市立大学病院群 5病院合同 地域医療連携講演会

2024年11月30日 (土) 15:30-18:00
名古屋市立大学病院 病棟・中央診療棟3階大ホール

参加費無料
現地/WEB
事前申込制



日本医師会
生涯教育制度
単位取得



名古屋市立大学医学部附属 西部医療センター
〒462-8508 名古屋市北区平手町1丁目1番地の1

TEL: 052-991-8121 (代表)
FAX: 052-856-0049 (地域医療連携センター)
※診療予約

<https://www.west-medical-center.med.nagoya-cu.ac.jp>



西部医療センター地域医療連携 NEWS 2024年10月号
〈編集担当〉地域医療連携センター 小谷純子 浅井瑞葉

名古屋市立大学医学部附属 西部医療センター

地域医療連携 NEWS



◆目次◆

ゲノム医療センター特集1・2・3
登録医療機関ご紹介《庄内クリニック》4
名古屋市立大学病院群地域医療連携講演会のご案内4

《基本理念》
地域に根差した大学病院として、
高度かつ安心な医療を提供するとともに
優れた医療人を育成します。



ゲノム医療センター

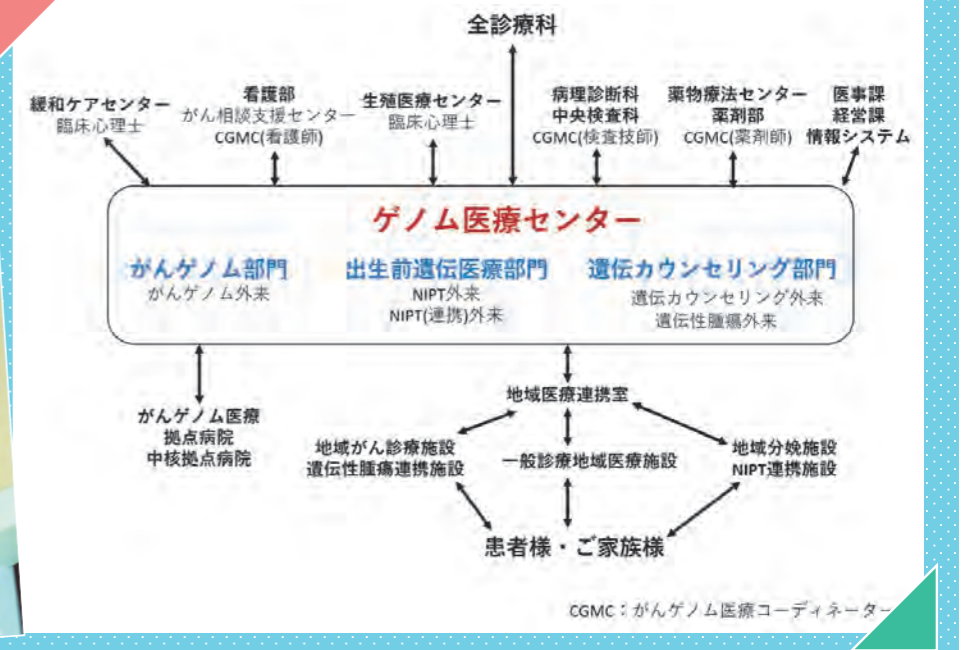
Since 2023.6



センター長・診療部長
准教授 (診療担当)
濱嶋 直樹

ゲノム医療センターは、2023年6月に設置されました。前身である遺伝診療部は2013年に設置され、遺伝カウンセリング外来とNIPT（母体血胎児染色体検査）外来が開設されました。当院が「がんゲノム医療連携病院」に指定された2020年には、がんゲノム外来が開設され、がんゲノム医療を開始しました。ゲノム医療センターは、これらを統合し、すべての診療領域に共通する、ゲノム医療と遺伝医療を横断的に統括する目的で、設置されました。現在のがんゲノム医療は、数百種類の遺伝子の変化を一度に調べる遺伝子パネル検査が一般的ですが、新たな治療薬を提案させていただける可能性は、1~2割程度に過ぎません。その結果をお伝えした際、多くの方は肩を落とされます。しかし、どのような遺伝子の変化が原因でその方ががんが発症したのかを説明させていただくと、「納得できました」とか「気持ちの整理ができました」と言われる方も多いです。また、その変化が遺伝的なものかどうか、ご家族のことを考えて真摯に向き合われる方も多いです。したがって、がんゲノム医療は、患者様やご家族の心に寄り添える医療でなくてはなりません。まもなく、その方の全ての遺伝子の変化を調べる全ゲノム解析の時代が到来し、より多くのゲノム情報が得られるようになります。しかし、それは、がんだけでなく他の疾患リスクに関する情報も含まれていて、その方やご家族に大きな影響を与える可能性があります。したがって、我々は、がん領域はもちろんのこと、全ての診療領域を網羅するように、ゲノム医療、遺伝医療に精通し、患者様やご家族のお役に立てるよう、努めて参ります。

様々な部門と
連携しています



がんゲノム外来

当院は、2020年1月1日付で、厚生労働省より「がんゲノム医療連携病院」の指定を受け、2020年4月より「がんゲノム外来」を設置して、**がん遺伝子パネル検査***（がんゲノムプロファイリング検査）を実施しております。がんゲノム外来では、がんゲノム医療コーディネーター（看護師、薬剤師、臨床検査技師）と協力して、がん診療に携わる全ての診療科と、病理診断科、中央検査科、薬剤科、看護部、がん相談支援センター、薬物療法センター、緩和ケアセンター、事務部門などの各部門と密接に連携を取り、がん遺伝子パネル検査を実施しております。

また、2024年6月1日付で、厚生労働省より「エキスパートパネル実施可能がんゲノム医療連携施設」の指定を受け、院内エキスパートパネルを開催しています。検査実施から結果開示までの時間を大幅に短縮し、より迅速に、患者様への新たな治療提案に努めます。

NIPT外来 (母体血胎児染色体検査)

当院は、2014年2月12日付で、日本医学会より、「母体血を用いた出生前遺伝学的検査に関する臨床研究施設」としての認可を受け、NIPT外来を開始しました。そして、2022年7月1日付で、新たなNIPT施設認定制度である、日本医学会出生前検査認証制度等運営委員会により、基幹施設として認証を受けました。NIPT外来では、当院の産婦人科、小児科、関連部門と密に連携を取り、NIPTを実施しています。

また、当院の連携施設として、名古屋バースクリニック様（名古屋市名東区）、かすがいマタニティクリニック様（春日井市）が、日本医学会出生前検査認証制度等運営委員会の連携施設認証を受け、当院と密に連携を取り、NIPTを実施しています。



がん遺伝子パネル検査

- FoundationOne CDx
- FoundationOne Liquid CDx
- NCC オンコパネル
- GenMineTOP
- Gurdant360CDx

「エキスパートパネル実施可能がんゲノム医療連携施設」の指定 2024年6月

検査実施から結果説明までの時間を大幅に短縮

	患者説明(検査)	検体準備	シーケンス実施	エキスパートパネル	レポート作成	患者説明(結果)	治療	先進医療・治験	人材育成
がんゲノム医療 中核拠点病院	必須	外注可	必須	必須	必須	必須	必須	必須	
がんゲノム医療 拠点病院	必須	外注可	必須	必須	必須	必須	必須	中核拠点と協力して実施	
EP 実施可能 14施設	必須	外注可	自施設で実施可(※)	必須	必須	必須	必須	連携	
がんゲノム医療 連携病院 221施設	必須	外注可	中核拠点・拠点に依頼	必須	必須	必須	必須	連携	

※自施設でがん遺伝子パネル検査を実施した症例に限って自施設でエキスパートパネルを実施することが可能。
なお、自施設で判断に迷う場合は、連携する中核拠点病院又は拠点病院にエキスパートパネルを依頼する。



上段左
呼吸器内科副部長
國井 英治

上段中央
産婦人科医師
田尻 佐和子

下段左
周産期医療センター長
西川 尚実

上段右
消化器外科副部長
社本 智也

下段中央
ゲノム医療センター長
濱嶋 直樹

下段右
病理診断科部長
石川 操

エキスパートパネルメンバー

遺伝カウンセリング外来

遺伝カウンセリングとは、遺伝の可能性のある疾患の患者様やご家族、あるいは、遺伝についての漠然とした不安や悩みを抱えている方々のための医療です。遺伝カウンセリング外来では、遺伝に関する様々なご相談に対応させていただいております。また、必要に応じて適切な遺伝学的検査を提案し、その結果を詳しく説明いたします。他の医療機関で実施された遺伝学的検査結果に基づく、遺伝カウンセリングのご依頼にも対応いたします。生殖・周産期領域、小児領域、成人領域、腫瘍領域など、全ての診療領域の遺伝カウンセリングに対応し、患者様やそのご家族の遺伝に関する様々な不安やお悩みの問題の解決を、サポートいたします。

遺伝性腫瘍外来

遺伝性腫瘍外来では、がん遺伝子パネル検査や各種遺伝性腫瘍遺伝学的検査の結果、遺伝性の変化があることが判明した場合、あるいは、遺伝性の変化がある変化が判明した場合、その病的な変化によってがんの発症リスクが高まることについて理解を深め、ご家族に結果をお伝えするかどうかを含めた、今後の対策・方針に関する提案を行います。

また、遺伝性乳がん卵巣がん症候群（HBOC）、Lynch症候群などの各種遺伝性腫瘍症候群が判明した方々に対して、関連腫瘍のリスク評価やサーベイランス計画について、その方やご家族のご事情やご要望に合わせてサポートいたします。





information

厳しい暑さが続いておりますが、登録医の皆様にはお健やかにお過ごしのことと拝察いたします。日頃から当院に対するご支援、ご協力を賜り、心から感謝いたしております。引き続き地域医療に専心し、貢献していきたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。



加藤伸一郎



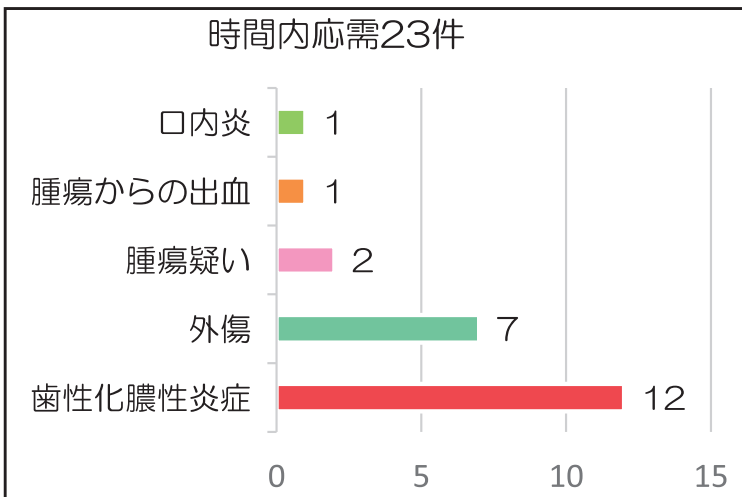
深野英夫

菱田純代

《今月は、今年の4月～7月までの急患対応の状況をお示ししようと思います。》

時間内と休日など時間外の対応に分けてご説明します。

- ★ 時間内に応需したのは**23件**で、そのうち4件は医科からの要請でした。内訳は菌性化膿性炎症が12件、外傷が7件（内6件は7歳以下）、その他に腫瘍を疑っての紹介が2件、腫瘍からの出血が1件、口内炎が1件でした。受診日に縫合処置や切開排膿手術をおこなったのは**13件**でした。また、化膿性炎症、腫瘍からの持続的な出血、広範囲な口腔粘膜炎については即日の入院対応をしておりました。
- ★ 時間外には**2件**を受け入れており、いずれも菌性化膿性炎症の急性症状でしたが、入院を要する状態ではなく外来での処置にて対応いたしました。



受診日の縫合処置・切開排膿手術	13件
時間外	2件

前号で「堤康介」となりましたが、正しくは「堤康輔」です。



「働き方改革」など諸般の事情から、時間外の受け入れは困難な状況ではありますが、可能な範囲で受け入れておりますので、まずは**電話**にてご相談頂くようお願いいたします。時間内にご紹介を頂く場合でも、**電話**でご一報頂けると受け入れ態勢を整える猶予があり、大変助かります。

今後も、登録医療機関の皆様のご期待に添えるよう努力して参ります。引き続きご協力をよろしくお願いいたします。



谷口弘樹



小嶋大輝